

# 優秀賞



設計担当者

## 竹原義二

(有)無有建築工房、大阪府建築士会

ショップ、カフェ、コワーキングスペース、ギャラリー／福井県小浜市

# GOSHOEN

構造 | 木造2階+2階建て土蔵

階数 | 地上2階

敷地面積 | 831.39㎡

建築面積 | 292.89㎡

延べ面積 | 355.97㎡

竣工年 | 令和4年



1



2



3



4

- 1 GOSHOEN (右手前) 上空より若狭湾を望む
- 2 南側外観を見る
- 3 改修後の玄関外観
- 4 改修前の北側外観
- 5 みんなのリビング (改修前: 書院ノ間・ニノ間)。小浜藩主を招いた書院は誰もがくつろげる場へと改修した
- 6 地場産業を発信するミュージアム (改修前: 土蔵)。床レベルを調整し床材を新設。2階は作品展示やワークショップが可能なシェアスペースへと改修した
- 7 若狭塗箸ショップ+カフェ (改修前: 奥ノ間・台所)。通し貫による耐震壁で緩やかに仕切る
- 8 台所の再生。通し貫による耐震壁で空間を緩やかに仕切る

## 選評

北前船の寄港地である小浜。成功を取めた北前船商家の古河屋は小浜藩の財政を支えるほどの店で、藩主をお迎える迎賓館として贅を尽くした護松園を建てた。その後福井県の指定有形文化財となり大切にされてきた。

しかし近年、その存在も忘れられがちになり、崩壊寸前の状態まで荒廃してしまった。そんな折に県等の補助事業として、小浜市に拠点を置く若狭塗の塗箸メーカーであるマツ勘がこれを購入し、「みんなの別邸」をコンセプトに誰

もが訪れることのできる文化財施設として蘇らせたものである。

指定文化財として普請当時の姿を極力再現するため、徹底的な調査を行い、本来の格式、品格を保全する努力が行われた。

一方で、誰もが日常的に訪れやすい工夫として、施設の一部にカフェ等を設けた。ほぼ原形を保っている書院部分には来訪者がくつろいで、コーヒーを飲みながら庭を楽しめるよう、座りやすい家具に加えて居心地の良いサービス

が提供される。時にイベントなども開催されるといふ。奥の間は図書室、集會室につくり替えられ、これからの多くの人の継続的な利用が期待される。

古い蔵は傾いてはいるものの、床だけ水平に補修し、北前船や若狭塗などのミュージアムとなった。

単なる復元ではなく、作者の情熱によって建築文化資産に新たな息吹を吹きこんだ、見事な動態保存プロジェクトである。(可児才介)



5



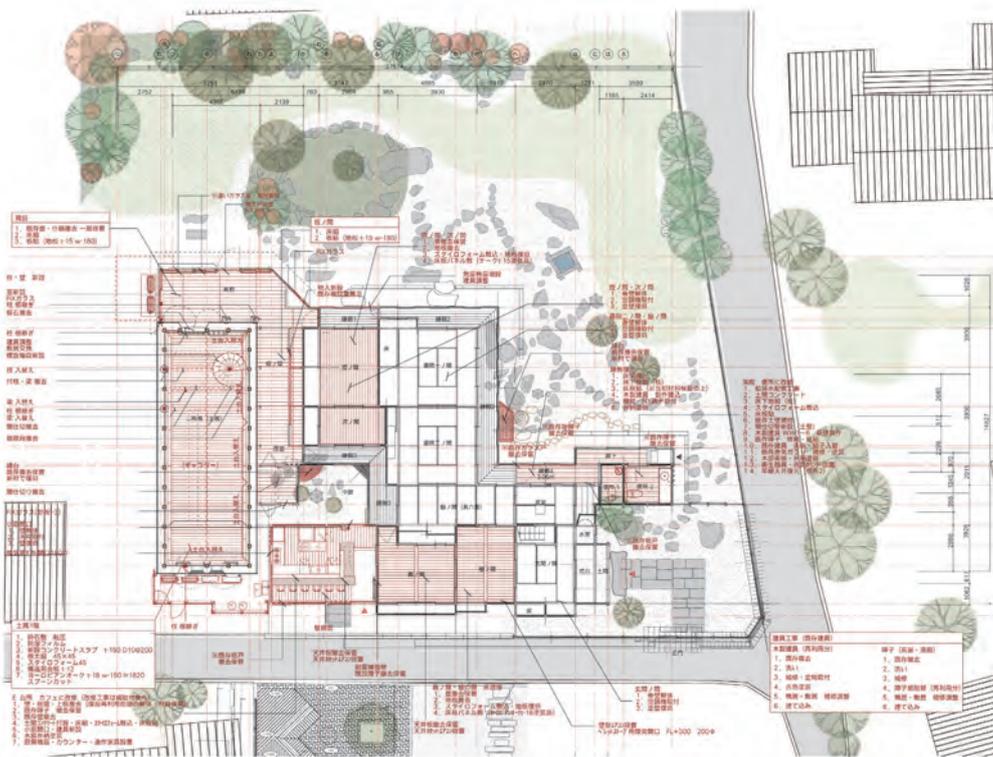
6



7



8



配置図兼1階平面図



9



10

9 庭園の再生。若王子山の借景を取り戻し、誰もが楽しめる庭園へ

10 土蔵の再生。小さな痕跡をもとにした復元と改良